

令和元年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) 国補・ 県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)]		事業箇所	甲府市緑が丘～塚原	地区名	(都) 新環状・緑が丘アクセス線 (主) 甲府山梨線、(一) 天神平甲府線 (塚原ICアクセス)	事業主体	山梨県																																																
計画期間	当初計画	現計画	変更計画		(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)																																																			
	H21～H29	H21～R2	H21～R7																																																					
総事業費	6,000 百万円	— 百万円	5,200 百万円		①地域・住民の意向状況 なし ②産業・経済情勢 なし ③国等の方針 なし ④上位計画・関連事業計画等 新山梨環状道路 (北部区間) 牛句～宇津谷: H16事業化、広瀬～桜井: H28事業化 平成25年3月7日 都市計画決定 ⑤自然環境条件等 なし ⑥その他 なし (3) 評価項目 [評価時点の費用対効果分析] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>着手時点</th> <th>変更計画時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">総事業費</td> <td>6,000 百万円</td> <td>5,200 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">工期</td> <td>H21～H29</td> <td>H21～R7</td> </tr> <tr> <td colspan="2">評価基準年</td> <td>H20</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>4,780 百万円</td> <td>4,936 百万円</td> </tr> <tr> <td> 建設費</td> <td>4,660 百万円</td> <td>4,846 百万円</td> </tr> <tr> <td> 維持管理費</td> <td>120 百万円</td> <td>90 百万円</td> </tr> <tr> <td> その他()</td> <td>百万円</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>10,890 百万円</td> <td>8,584 百万円</td> </tr> <tr> <td> 走行時間短縮</td> <td>8,840 百万円</td> <td>7,177 百万円</td> </tr> <tr> <td> 走行費用減少</td> <td>1,380 百万円</td> <td>866 百万円</td> </tr> <tr> <td> 交通事故減少</td> <td>670 百万円</td> <td>226 百万円</td> </tr> <tr> <td> その他※</td> <td>百万円</td> <td>315 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td>2.3</td> <td>1.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※その他は、救急救命率向上便益、観光客増加便益 ※電線共同溝は便益の算出規定がないため、経済効率性の算定対象としていない。 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。</p>				項目		着手時点	変更計画時点	総事業費		6,000 百万円	5,200 百万円	工期		H21～H29	H21～R7	評価基準年		H20	R1	経済効率性	費用	4,780 百万円	4,936 百万円	建設費	4,660 百万円	4,846 百万円	維持管理費	120 百万円	90 百万円	その他()	百万円	百万円	便益	10,890 百万円	8,584 百万円	走行時間短縮	8,840 百万円	7,177 百万円	走行費用減少	1,380 百万円	866 百万円	交通事故減少	670 百万円	226 百万円	その他※	百万円	315 百万円	B/C		2.3	1.7
項目		着手時点	変更計画時点																																																					
総事業費		6,000 百万円	5,200 百万円																																																					
工期		H21～H29	H21～R7																																																					
評価基準年		H20	R1																																																					
経済効率性	費用	4,780 百万円	4,936 百万円																																																					
	建設費	4,660 百万円	4,846 百万円																																																					
	維持管理費	120 百万円	90 百万円																																																					
	その他()	百万円	百万円																																																					
	便益	10,890 百万円	8,584 百万円																																																					
	走行時間短縮	8,840 百万円	7,177 百万円																																																					
走行費用減少	1,380 百万円	866 百万円																																																						
交通事故減少	670 百万円	226 百万円																																																						
その他※	百万円	315 百万円																																																						
B/C		2.3	1.7																																																					
(1) 事業の概要																																																								
①事業目的及び効果																																																								
<p>本路線は、新山梨環状道路北部区間へのアクセス道路であり、また、既に供用済みの通称アルプス通りへと接続することで、甲府都市圏の主要な南北軸として、「甲府都市計画区域マスタープラン」に位置付けられている。新山梨環状道路北部区間については、平成17年2月に概略計画を公表し、これまでに、国土交通省にて環境影響評価及び都市計画決定に向けた手続を行っており、事業化に向けた状況が整いつつある。</p> <p>□主要目標 ○生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上 混雑時走行速度 12.7km/h < 30km/h※以下 自動車交通量 9,299台/12h (平日) > 3,428台/12h (平日) ※以上 ※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○災害に強い道路の確保 □副次効果 ○緊急時の避難・救助機能の確保 ○重要プロジェクトとしての位置付け</p>																																																								
②事業概要																																																								
計画延長: L=1,420m W=6.5 (18.5) m 道路幅員: 車道6.5m (2車線) 歩道2.0m (両側) 自転車道2.0m (両側)																																																								
③全体計画																																																								
		平成30年度まで	令和元年度 (評価実施年度)	令和2年度以降																																																				
現計画	工事内容	測量及び道路設計 用地取得・補償 道路改良工事 トンネル工事	道路改良工事 トンネル工事	道路改良工事																																																				
	事業費	5,700 百万円	200 百万円	100 百万円																																																				
変更計画	工事内容	測量及び道路設計 用地取得・補償	用地取得・補償 道路改良工事	用地取得・補償 道路改良工事 トンネル工事 橋梁工事																																																				
	事業費	2,290 百万円	310 百万円	2,600 百万円																																																				
※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。 ④特記事項 (関連事業概要等) ・新山梨環状道路 (北部区間) 牛句～宇津谷 H16事業化 広瀬～桜井 H28事業化																																																								
⑤これまでの評価状況 (平成20年度事前評価)																																																								
この事業は、すでに供用済みの通称アルプス通りから新山梨環状道路北部区間へのアクセス道路を整備するものである。本事業路線は「甲府都市計画区域マスタープラン」で幹線道路として位置づけられ、甲府市とその周辺地域における交通環境改善にとっても重要であること、さらに新山梨環状道路北部区間と併せて整備する必要があることから、実施が妥当である。																																																								

2. 評価シート

(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]	(5) 変更計画の変更内容 (事業費)				
<p>①これまでの計画変更等の概要 用地取得に日数を要し、事業期間の見直しを行った。</p> <p>(平成26年度変更内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> 完成年度 当初：平成29年度 → 変更：令和2年度 <p>②進捗率 別表のとおり。</p> <p>③事業進捗が順調でない理由 地権者との用地補償交渉が難航している。 起業地について埋蔵文化財調査(本調査)が必要となり、時間を要した。</p> <p>④今後の事業執行上の問題点 地元説明会を重ね熟度は上がっており、個別の用地補償交渉を継続して実施していく。</p> <p>⑤変更計画の進捗予定(期間) 当初、総合グラウンド入口から塚原ICまでの間を事業化していたが、(一)天神平甲府線のバイパス機能を早期に発現させるため、事業区間を分割し集中的な整備を行う。</p> <p>事業区間 (当初) L=2,300m (道路事業分：1,655m、街路事業分：L=645m) (変更) L=1,420m (道路事業分：775m、街路事業分：L=645m)</p>	変更工種等	事業費増減		変更理由	
	道路改良 L = 1,420m	800	百万円	増減	整備効果の早期発現のため、計画区間を細分化し集中的に整備する見直しを行う。
			百万円	増減	
			百万円	増減	
	合計	800	百万円	減	
	(5) 評価項目 [環境負荷等への配慮]				
	なし				
	(6) 評価項目 [コスト削減の可能性]				
	なし				
	(7) 評価項目 [代替案立案の可能性]				
	なし				
	(8) 所管部の今後の方針				
	継続・ 見直し継続 ・その他()				
	(理由) この事業による道路の整備により、新山梨環状道路北部区間へのアクセス機能の向上と (一)天神平甲府線のバイパス機能が見込まれるが、現時点において新山梨環状道路北部区間(牛匂～桜井)は事業化がされておらず供用時期が不明となっていることから、今回の変更計画において整備区間を(一)天神平甲府線のバイパス機能が見込まれる区間までに縮小し、事業効果の早期発現を目指すこととする。 また、今回の変更計画において事業区間から除いた区間の道路整備については、今後、新山梨環状道路北部区間の事業進捗を見ながら、別途、事業化を検討していく。				

○別表-進捗率(事業費ベース)

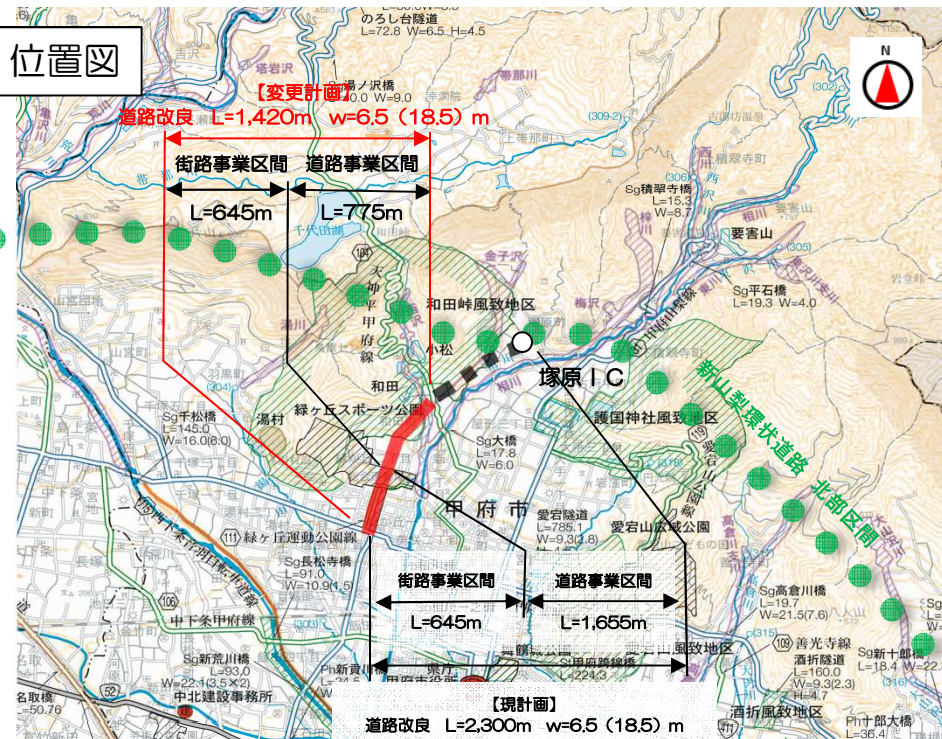
算出方法：【上段】現計画の計画事業費/総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費/総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費/総事業費×100 単位：%

	年度	*H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	*H27	H28	H29	H30	*R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	現	計画	0	1.7	10.0	20.0	40.0	58.3	70.0	80.0	88.3	91.7	95.0	98.3	100				
	実績	0	0.2	0.3	0.9	1.8	7.4	20.1	25.3	30.2	33.2	38.2	43.3						
変更計画													50.0	59.6	66.9	76.2	89.2	95.0	100.0

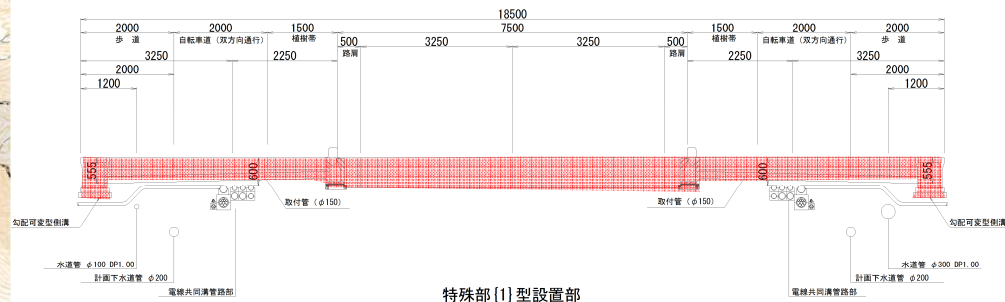
*事業着手年度又は評価年度

3. 添付資料シート (1)

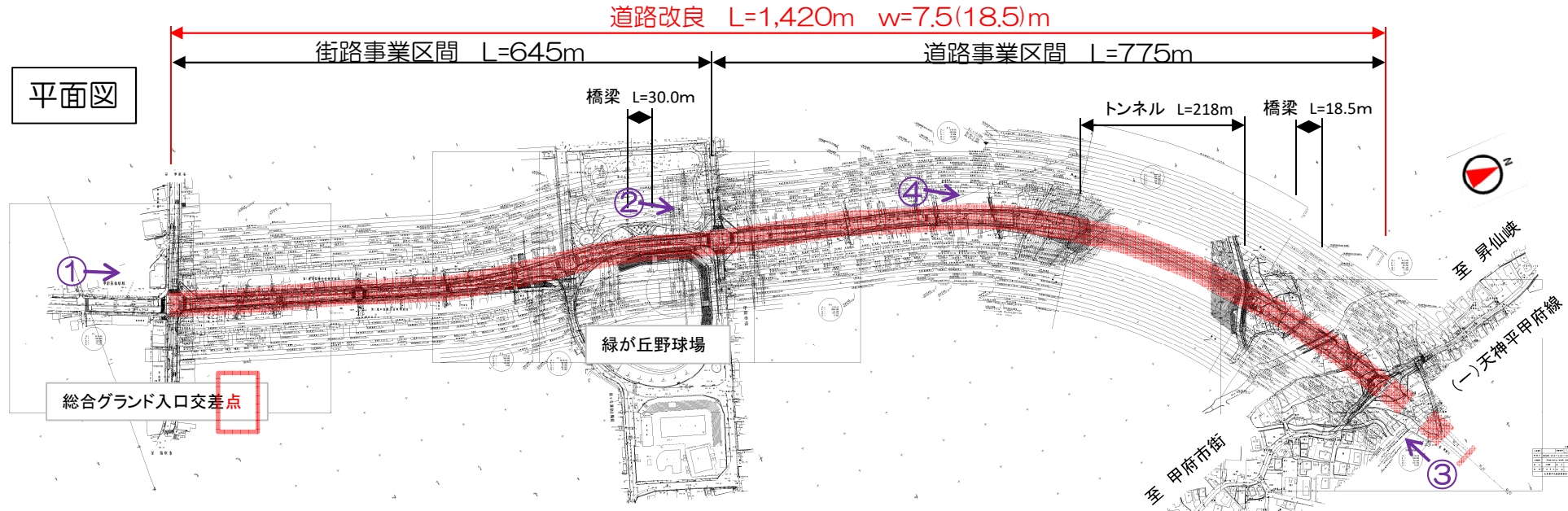
位置図



標準横断面図



平面図

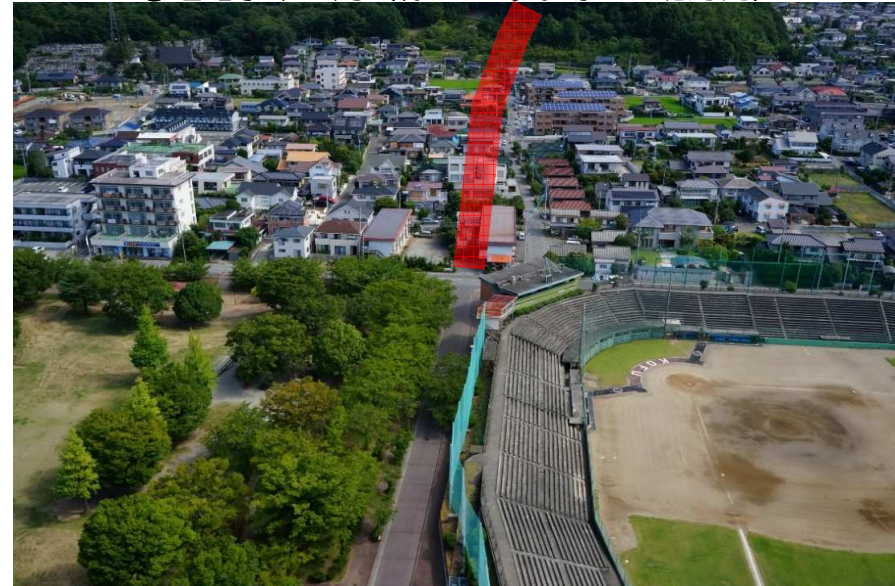


3. 添付資料シート (2)

① 街路事業区間 (総合グランド入口交差点から北方向)



② 道路事業区間 (緑が丘野球場から北方向)



③ 道路事業区間 (三光寺山北側)



④ 現道区間 (一) 天神平甲府線 幅員が狭い状況



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H21	13,000	道路予備設計・地質調査・地形測量	0.3%
H22	6,000	道路詳細設計・路線測量	0.4%
H23	35,000	トンネル詳細設計・用地測量	1.0%
H24	53,000	用地測量調査	2.1%
H25	339,000	用地調査・電線共同溝予備設計	8.6%
H26	761,000	用地補償・埋蔵文化財調査	23.2%
H27	313,000	用地補償・埋蔵文化財調査	29.2%
H28	289,000	用地補償・埋蔵文化財調査	34.8%
H29	180,000	用地補償・埋蔵文化財調査・電線共同溝詳細設計	38.3%
H30	301,000	用地補償・道路改良工事	44.0%
R1	310,000	用地補償・道路改良工事	50.0%
R2	500,000	用地補償・道路改良工事	59.6%
R3	380,000	用地補償・道路改良工事・橋梁下部工事	66.9%
R4	480,000	道路改良工事・橋梁上部工事・橋梁下部工事（公園内）・トンネル工事	76.2%
R5	680,000	道路改良工事・橋梁上部工事（公園内）・トンネル工事	89.2%
R6	300,000	道路改良工事・トンネル工事	95.0%
R7	260,000	道路改良工事・トンネル工事	100.0%
合計	5,200,000		